

# イチオン“読書”



## 女子って大変…。



「十六にして余生だ。」(p66)

### よろこびの歌 Una bella Madonna

●宮下奈都 / 著 ●実業之日本社 ●2009年

第一志望の高校に落ちた玲、スポーツ生命を断たれた早希、背後霊が見えてしまう史香…。気持ちバラバラのクラスは、合唱も最低だった。見えない未来に戸惑う女子高校生たちが、いつか自分たちのハーモニーを響かせる。

「彼女の話にはぞくぞくさせられる。」(p20)



### 本屋さんのダイアナ

●柚木麻子 / 著 ●新潮社 ●2014年

小さい頃から母親に髪を金髪に染められた矢島大穴(ダイアナ)は、心底「普通」の生活に憧れていた。小学校3年生のとき初めてできた友達の綾子とは何もかも正反対。お互い自分にはないものを求め続けた二人の15年間。

## 男子も大変？



「本を読んだから思い出せたこと、本を読んだから思い出付いたこと、本を読んだから救われたこと。」(p5)

### 第2図書係補佐

●又吉直樹 / 著 ●幻冬舎 ●2011年

“読書芸人”ピース又吉が、自身の微妙でさえない体験や妄想を披露し、関連の本をちょこっと紹介している。異色のブックレビュー。

「あの一球さえ逃さなければ」と思うのと同じように、「あの瞬間さえなければ」とどれだけ考えたことだろう。」(p180)

### オン・ザ・ライン

●朽木祥 / 著 ●小学館 ●2011年

テニス漬けの毎日を送る高校生の日高侃(かん)。恋もテニスもライバルの貴之には叶わなかったが、脳天気な仲間達との日々は、なかなか楽しかった…。



## 悪魔は人生のアドバイザー?!



「あなたの素敵なところ、これだけを忘れずに生きてください。」(p185)

### 世界から猫が消えたなら

●川村元気 / 著 ●マガジンハウス ●2012年

自分の余命を延ばすために、僕が悪魔から要求されたのは、世界から「何か」を消すことだった。電話や時計がなくなり、以前とは変わってしまった世界の中で、僕は忘れていた大事なことを思い出す。2015年映画化。

「なんだか変だよ、きょう」「恋してるんだ」(p71)

### キリエル

●ジェンキンス / 著 宮坂宏美 / 訳 ●あかね書房 ●2011年

地獄の墮天使(悪魔)キリエルは、さえない男子高校生シヨーンの体をのっとり、七つの「罪」を体験しようとする。嫉妬、怠惰、傲慢、強欲、暴食、憤怒、そして色欲…。興味津々で人間生活を送るキリエルは、やがて、本音を上手に言えない人間達を見て、あることを思い付く。



## 「思春期」を読み解くヒント



「『ひとり』が、まずはすべてのはじまりです。」(p11)

### ボールのようなことば。

●黒川圭里 / 著 ●東京永井里事務所 ●2012年

短くて奥が深い。読むとなぜか癒される文章です。



「ヤッカルがいたら、ひとりでも寂しくないもんねあ。」(p126)

### 好きなのはワケがある

●岩宮恵子 / 著 ●筑摩書房 ●2013年

「千と千尋の神隠し」「もののけ姫」等に描かれた人間関係や成長のメカニズムについて、心理学の観点から解説している。

## 笑いなくしては読めません!



### 先生、大型野獣がキャンパスに侵入しました!

●小林明彦 / 著 ●築地書館 ●2013年

動物への尋常ならざる関心を持つ鳥取環境大学の小林教授と、心優しい学生たちが巻き起こす珍事件の数々。人気シリーズ第七作目。



「うかつに使う」(p34)「なかまかな?」(p56)

### たのしい回文

●せとちとせ / 著 ●朝元社 ●2013年

回文は、日本古来の言葉遊びです。「それで?」なんて言っていたら「少ない愛なくす」ことになりまよ。

## 広島じゃけん



「僕はまだ全盛期じゃない」(中略)これはいつも自分に言い聞かせる言葉です。」(p212)

### エースの覚悟

●朝田健太 / 著 ●光文社 ●2013年

“マエケン”がエースになるまでの道のり。



### 綾瀬はるか「戦争」を聞く

●TBSテレビ「NEWS23」取材班 / 編 ●岩波書店 ●2013年

広島出身の綾瀬はるかTBSテレビ「NEWS23クロス」で取材した戦争体験者等へのインタビュー。真珠湾攻撃で戦死した恋人を思い続ける女性、被爆後67年ぶりに再会した幼なじみなど…。